

平成21年度 全員参加の地域づくり推進事業 取組結果

|          |   |
|----------|---|
| 事業名      | 西川口B級グルメタウンのまちづくり   |
| 現状と課題    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 西川口駅西口では、違法な性風俗店の排除に伴い200近い空き店舗が発生し、再生のための取組が行われてきている。</li> <li>2 平成20年に埼玉県B級ご当地グルメ王決定戦を開催し、3万5千人の参加者を得た。</li> </ol>                     |
| めざすべき方向性 | 空き店舗数の減、50万都市にふさわしいにぎわいの復活、都心への近接性を活かした生活利便性の向上   |
| 事業目的・内容  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 街のイメージに特に影響の大きい路面階の空き店舗の減</li> <li>2 「安全・安心」に直接影響を及ぼす違法な性風俗店舗数のゼロの維持</li> </ol>  |
| 活動主体     | 埼玉県・川口市・商工会議所   |
| 主体ごとの取組  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県の取組： チャレンジショップ家賃補助（7店舗）</li> <li>・ 川口市の取組： 環境浄化対策委員会を設置し、パトロールや清掃活動を実施</li> <li>・ 商工会議所の取組： 西川口再生会議を設置し、街づくりステーションを運営し、情報を発信</li> </ul> |

【県の取組結果状況】

|                 |  |
|-----------------|--|
| H21年度に取り組んだ事業   | チャレンジショップ家賃補助（7店舗）   |
| 上記事業について成果があった点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャレンジ店舗7店のほかに、飲食店が9店舗開店した。<br/>（空き店舗数：H19年度52店舗→H21年度31店舗）</li> <li>・ チャレンジショップをマスコミが取り上げたことで、物販のドン・キホーテ、惣菜屋、大学研究室が進出するなど、街の活性化が進んだ。</li> </ul> |

平成21年度 全員参加の地域づくり推進事業 取組結果

|          |   |
|----------|---|
| 事業名      | 首都圏に輝く圏央道の魅力づくり（鶴ヶ島市）   |
| 現状と課題    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 八王子や青梅で進む圏央道開発に対抗する埼玉の魅力発信が必要</li> <li>2 農業大学校の老朽化対策（築40年以上）</li> </ol>  |
| めざすべき方向性 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 武蔵野の緑を活かし首都圏から集客できる「圏央道の魅力発信」</li> <li>2 鶴ヶ島市が進める緑地の創出／保全計画と一体化した土地利用</li> </ol>   |
| 事業目的・内容  | <p>地域の資源を活用した魅力ある地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 首都圏に残る武蔵野の緑を満喫コース（癒し）</li> <li>・ 市民農園／サイクリングの体験コース（遊ぶ）</li> <li>・ 安心安全な農作物の買い物コース（交流）</li> </ul>  |
| 活動主体     | 埼玉県・鶴ヶ島市・高倉ふるさと協議会  |
| 主体ごとの取組  | <p>◎県の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業大学校移転調査</li> <li>・ 跡地活用及び周辺地域整備の検討</li> </ul> <p>◎地域の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋敷林の保全</li> <li>・ 市民農園の拡充</li> <li>・ 工業団地の緑地拡大</li> <li>・ サイクリングロード整備</li> </ul> |

【県の取組結果状況】

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| <p>Ｈ２１年度に<br/>取り組んだ事業</p>   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 農業大学校の立地整備に係る調査業務委託<br/>（権利関係調査、開発可能性検討）</li><li>・ 基本計画策定</li><li>・ 「圏央鶴ヶ島インターチェンジ周辺地域整備分科<br/>会」開催</li></ul> |
| <p>上記事業について<br/>成果があった点</p> | <p>平成２１年１１月に開催された経営政策会議で方向性が決定された。<br/>農業大学校の熊谷市への移転に伴い、移転候補先の環境調査等を行って、開発可能性の検討を進めることができた。</p>   |

平成21年度 全員参加の地域づくり推進事業 取組結果

|          |  |
|----------|--|
| 事業名      | 環境にやさしいまちづくり（熊谷市）  |
| 現状と課題    | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 熊谷市では日本最高気温40.9℃を記録（H19.8.16）</li> <li>2 ヒートアイランド対策推進宣言都市として、まちが暑くならない対策を実施</li> </ol>  |
| めざすべき方向性 | 「経済・生活・環境」が高い水準で調和した地域づくり  |
| 事業目的・内容  | <p>エネルギー消費を低減するため、地域の顔ともいえる熊谷駅北口周辺（県道熊谷停車場線）を環境に優しい構造へ見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道の保水性ブロック舗装及びアーケード撤去</li> <li>・自転車レーンの設置</li> </ul>  |
| 活動主体     | 埼玉県・熊谷市・熊谷商工会議所・地元商店街・地元自治会・ロードサポーター等  |
| 主体ごとの取組  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 熊谷停車場線整備事業（県、市、地元商店街） <ul style="list-style-type: none"> <li>・①保水性ブロック舗装</li> <li>②自転車レーンの整備</li> <li>③地元商店街などの協力を得て打ち水など実施</li> </ul> </li> <li>2 「あつさはればれ 熊谷流」プロジェクトの実施（市） <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷駅前広場の冷却ミストの設置、熱中症予防情報発信などを実施</li> </ul> </li> <li>3 熊谷市中心市街地に関する各種検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>○熊谷市道路空間整備推進委員会（国、県、県警、市、大学、自治会ほか） <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷市中心市街地について整備主体が連携して自転車走行環境、バリアフリー、景観など道路空間の検討を行い整備方針を定める。</li> </ul> </li> <li>○エコまちづくり事業（国、県、市、大学、自治会ほか） <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊谷市中心市街地地区（123ha）において、ヒートアイランド現象緩和等の観点から検討を行い、都市環境改善に資する計画を策定する。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol> |

【県の取組結果状況】

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>H 2 1 年度に<br/>取り組んだ事業</p> | <ul style="list-style-type: none"><li>① 自転車道等社会実験の実施（10/28～11/20）</li><li>② 熊谷駅前通線整備検討会の立上げ</li><li>③ 熊谷停車場線（熊谷駅～国道17号）の歩道の保水性ブロック舗装及びアーケード撤去</li></ul>         |
| <p>上記事業について<br/>成果があった点</p>  | <ul style="list-style-type: none"><li>① 社会実験の結果、約7割の人から安全性向上についての理解が得られた。</li><li>② 検討会の設置により、地元の意見等が反映できた。</li><li>③ 熊谷停車場線の整備を実施し、歩行者等の安全性の向上が図られた。</li></ul> |